

週刊NY生活

www.nyseikatsu.com

NY生活プレス社 NO. 583 (週刊) 2016年5月14日土曜日

NEW YORK SEIKATSU PRESS, INC. ☎ (212) 213-6069
71 WEST 47TH STREET, SUITE 307, NEW YORK, NY 10036

在外選挙で意見交換

民進党の藤田、牧山議員

海外有権者ネットワーク「ニューヨーク支部」で開催した。当日は、共同代表の竹田勝男さんと竹永浩之さんが出席した。在留邦人14人が9割以上あるにもかかわらず、在外公館に行くのが難しいという声が多かった。国会で大使館以外の在外公館や政府系機関、商業施設、日本人会の事務所などでの投票を検討すべきではないかとの意見に対し、円滑かつ公正な実施を確保するため、現地官憲より報告があった。

望した際の回答として「登録は本人の申請主義に基づいているもので、本人がまずは在外公館で申請を提出していただくことが原則」としながら、投票環境の向上の方策などに関する研究会で議論をしている状況が報告された。

これに対して海外有権者ネットワークニューヨーク支部の竹永さんが、同研究会が昨年8月5日に発表した在外選挙制度の概要を引用し、その中で改善の方向性として出されている案を讀み上げた。同方向性として

▽転出届を出すのと同時に、在外選挙人名簿の登録申請をした者のうち、最終住所に選挙人名簿が登録されている者は、在外選挙人名簿の被登録資格を有する者とみなして、在外公館管轄地区内に3か月住所を持つという要件を不要にしてはどうか。

望した際の回答として「登録は本人の申請主義に基づいているもので、本人がまずは在外公館で申請を提出していただくことが原則」としながら、投票環境の向上の方策などに関する研究会で議論をしている状況が報告された。

▽在外公館から遠隔地に住む者は選挙人名簿への登録申請が負担になっている。登録申請が負担になっている。登録申請が負担になっている。登録申請が負担になっている。



左手前から藤田議員、牧山議員、竹田、竹永共同代表

NYで在外選挙意見交換 「海外でも国内同等に」

海外有権者ネットワーク「ニューヨーク支部」は6日、民進党国際局長(元財務副大臣)の藤田幸久参議院議員と牧山ひろえ参議院議員を迎え、「在外選挙意見交換会」をミッドタウンの日本食レストラン「しんば」で開催した(1面に記事)。当日は、海外有権者ネットワーク「ニューヨーク支部」共同代表の竹田勝男さんと竹永浩之さんが在留邦人14人が参加した。

会場からは、「選挙権を持つにしても18%の人しか投票しないのは、投票制度の複雑さに加えて、海外在留邦人に関する立法案件の少なさがある」との声が上がった。

意見交換会では、ニューヨーク日系人会で4月30日に開催されたマイナンバー制度についての勉強会でも、ニューヨーク総領事館側から「制度は充足したばかりで、海外在住者に対する対応は不透明」との説明がなされた。

海外有権者ネットワーク「ニューヨーク支部」は6日、民進党国際局長(元財務副大臣)の藤田幸久参議院議員と牧山ひろえ参議院議員を迎え、「在外選挙意見交換会」をミッドタウンの日本食レストラン「しんば」で開催した(1面に記事)。

「海外でも国内同等に」という声が出た。竹永共同代表から「投票をネットで行う」という案が提案された。

牧山議員は「こちらに住んでいる人のナマの声が聞けてとても参考になった。日本人が海外にいても投票できるのは当然の権利だが、投票しやすいようにさらに改善できるように今日の話を日本に持ち帰りたい」と話した。